

## 体育系学科におけるニュースポーツの授業導入と学生の志向

中 村 哲 士  
(武庫川女子大学文学部健康・スポーツ科学科)

### Student's intention change by introducing new sports to coursework in an athletic department

Tetsushi Nakamura

*Department of, Health and Sports, School of Letters  
Mukogawa Women's University, Nishinomiya 663-8558, Japan*

#### Abstract

A series of study has been begun to consider the skill students get and students' intention change by experiencing a new sports. The purpose of this study was an analysis of the element which influences introduction to daily life, participation in a workshop and the contribution amount to the guidance.

The results were summarized as follows:

1. The students' consciousness that I'll practice by a life was low. The common elements which have an influence on students' intention were new technological acquisition, the appropriate momentum in each group and a moderate play. Competing students like an individual game, and the students who aren't competing like a group game. The students with short learning time chose several new sports.
2. It was revealed that most students don't feel the necessity about participation in an institute, an athletic meeting and a workshop.
3. 1) The students who are continuing a play and are learning much educational method imagined the place of employment with the strong play. These students like the thing which can get knowledge and technology and new sports of the high momentum and high play.  
2) The play wasn't continued, but the students learning much educational method imagined the place of employment related to the health and recreation. These students have the request which would like to guide many new sports in the place of employment.  
3) The students of play isn't continued and leadership is low doesn't consider the place of employment specifically. These students will decide about new sports by whether it won't be done whether it's possible to guide oneself.

#### 緒 言

レクリエーションやスポーツの普及・推進役として期待される体育系学科の学生は、どのような運動・競技レベルやライフステージにある人を対象としたとしても、決して運動嫌いにさせることなく、楽しく満足感が得られるような指導ができる指導者となるよう心がけなければならない。競技志向も重要であろうが、健康志向、レクリエーション志向の人たちへの指導力も強化されなければならない。ニュースポーツに対する理解力や指導力の獲得も、指導者資質としての重要な一部分となる<sup>1)</sup>。そこで、これま

でどちらかといえば競技志向だった学生たちの志向が、ニュースポーツを経験することによってどのように変化するのか、また、体験機会の少ないニュースポーツの知識・技術・指導力は在学中どの程度獲得されていくのかを明らかにするために研究を開始した。

前回の研究<sup>2)</sup>では、①大学におけるクラブの所属・無所属は、おおよそ6対4であり、クラブ所属者の競技レベルは、多くが全国大会出場レベルである、②過去の経験は、どの種目も体験的経験にすぎない、③運動量は、徒歩レベルで行われるか否か、ゲーム中の停止時間の違い、競技性は、対戦相手の有無によって分別され、理解度は、全員が高い傾向を示した、④志向性に影響を与える種目特性は、比較的少人数で出来ること、大きな力を必要としないこと、移動範囲が少なく小スペースで行えること、用具が大がかりでないこと、全員の運動量が比較的高く確保できること、奥が深く継続性が期待できること、適度な競技性を有することであった、⑤1回の授業で、見本と指導の両面の技術獲得は難しい、の5点を明らかにした。しかし、ニュースポーツは、競技スポーツのアンチテーゼとして、また、競技スポーツが人や環境などさまざまな点で排除せざるをえなかったものを補うものとして位置づけられているという野々宮<sup>3)</sup>の指摘や、「大学生が生涯スポーツを感じた場面」の一つに大学の授業時におけるニュースポーツの体験があげられ、ニュースポーツとの出会いと体験が生涯スポーツ観の形成につながることを示唆する笹瀬ら<sup>4)</sup>の指摘を考慮すると、前回の研究は、あくまで授業後のニュースポーツに対する志向性変化の基礎的資料を得ることが目標であったこと、一連の研究の初回のため対象が大学の1学年のみであったことなどから、学びの時間量や経験量、競技レベル別などを考慮した分析とはなっていないといえる。

そこで、今回の研究は、学びの時間、競技・指導経験の量については、大学4年生と短大2年生別で、競技の継続とレベルについては、大学におけるクラブ所属と出場大会の別で、グループ分けし比較検討することとした。ニュースポーツを体験し、どのように感じたか、知識・技術は得られたかとはもとより、日常的に生活化すること、講習会・競技会・指導者研修会等への参加希望、将来の指導現場への貢献は、どの程度もたらされたのかについても明らかにしようとするものである。

## 方 法

### 1. 授業の概要と分析の対象

#### (1) 授業の概要

武庫川女子大学文学部健康・スポーツ科学科ならびに同短期大学部健康・スポーツ学科のレクリエーションに関する科目は、「レクリエーション論」、「レクリエーション指導法演習」、「レクリエーション指導法実習」で構成され、上記順で実施されている。うち、ニュースポーツ種目は、「レクリエーション指導法演習」において「インディアカ」「ゲートボール」「フライングディスク」の3種目を教員主導形式で、「レクリエーション指導法実習」において「キンボール」「グラウンドゴルフ」「シャッフルボード」「ショートテニス」「スポーツチャンバラ」「タッチラグビー」「ダブルダッチ」「チュックボール」「ティーボール」「フリンゴ」「ペタンク」「ユニホック」の12種目を学生相互指導形式で学習するよう取り扱われている。学習時間は、1種目1時限90分間である。「レクリエーション指導法実習」で実施される12種目の相互指導においては、各種目を担当するグループを決定し、そのメンバーは、①種目の「歴史」「開発目的」「用具」「ルール」をプリント化し全員に配布すること、②指導案を作成すること、③円滑な指導をすること、④用具の準備・後片付けをすることを義務づけている。

#### (2) 分析の対象

分析の対象者は、大学・短大ともに開講されている「レクリエーション指導法演習」、「レクリエーション指導法実習」の2科目ともに履修し、「レクリエーション指導法実習」の最終授業に参加した学生である。そのうち研究に採用したのは、全授業に出席し、全ての回答が整ったものである(Table 1.)。

Table 1. 分析の対象 (人)

所属	履修者		分析対象		クラブ所属	
	2008	2009	2008	2009	所属	無所属
大健	69	57	38	23	29	32
短健	44	38	29	33	8	54

## 2. 調査の内容と方法

### (1) 調査内容

前回の研究<sup>5)</sup>同様に、属性に関する質問は、「大学における所属」「所属クラス」「高校・大学時の運動部所属」「高校・大学時の競技レベル」、ニュースポーツに関する質問は、「過去の知識や経験の量(以下、経験量)」「感じた運動量(運動量)」「感じた競技性(競技性)」「ルールや用具に対する理解度(知識・理解)」「種目の生活化(日常生活化)」「講習会・競技会等への参加希望(会参加希望)」「実施技術の獲得量(見本の実施)」「指導力の獲得量(実際指導)」「将来の指導現場に対する貢献量(指導現場貢献)」「興味関心を持った種目」「学びたかった種目」とした。

### (2) 調査方法

調査は、平成20・21年度の前・後期の「レクリエーション指導法実習」最終授業終了後、集合調査方法を用いた無記名方式で実施した。

## 3. 分析の内容と方法

競技志向の強弱によってニュースポーツの捉え方に相違があるのか、大学・短大におけるクラブ活動の所属・無所属別に比較検討することを主眼に置いた。そのため、大学クラブ所属(a)、大学クラブ無所属(b)、短大クラブ所属(c)、短大クラブ無所属(d)の4つのグループに分けて分析した。設問ごとの群間比較に関しては多重比較検定を、行動変容に影響を及ぼす要因の発見には、日常生活化・会参加希望・指導現場貢献のそれぞれを従属変数とした重回帰分析を使用し検討した。

分析に当たっての統計処理は、SPSS (PASW) Statistics 17.0で行った。

## 結果と考察

### 1. グループの特徴と群間比較

#### (1) 対象者の競技特性

競技志向の強弱による相違を明らかにするため、4つのグループに分けた。大学・短大で競技を継続しているグループはaとcであるが、その競技レベルの内訳は、aでは29名中21名が全国大会出場レベル以上、西日本大会レベル6名、関西大会レベル2名、bでは8名中4名が全国大会出場レベル以上、4名が関西大会レベルで活躍していた。大学・短大のどちらの学生もかなり高い競技レベルにあるが、大学生の方がより競技レベルが高いと判断され、所属年数の影響が示唆された。

逆に、bとdのグループは、高校時の競技生活終了から数えて、bで約4年間、dで約2年間、競技とは無縁な生活を送っている学生ということになる。

#### (2) 各設問の群間比較

「経験量」「運動量」「競技性」「知識・理解」「日常生活化」「会参加希望」「見本の実施」「実際指導」「指導現場貢献」の9つの設問は、15種目のニュースポーツごとに5件法で評価できるよう設定されている。これら全てについて、記述統計量を求め(Table 2.)、4グループ間の多重比較を一元配置分散分析後にBonferroniの手法を用いて行った(Table 3.)。表中の数値のアンダーラインは、5件法の第3段階を、どの質問項目も「どちらともいえない」に準拠させているため、3.5以上の平均値に対して付したものである。

授業前の経験量については、平均値3.5以上の箇所が4箇所見つけたが、いずれも短大生であり、



4	シャッフルボード	3.28	1.00	3.72	0.96	3.00	0.76	3.13	1.06	3.31	0.93	3.47	1.05	2.63	0.52	2.89	1.08	3.17	0.97	3.66	1.15	3.38	0.74	3.61	0.94
5	ダブルダッチ	3.24	1.33	3.63	1.13	3.25	1.28	3.26	1.07	3.34	1.29	3.47	1.19	3.25	1.28	2.98	1.22	4.14	0.88	4.00	0.98	3.25	1.04	3.81	0.97
6	ユニホック	3.28	0.88	3.41	0.91	3.25	0.71	2.78	0.86	3.21	0.86	3.34	1.21	2.88	0.64	2.93	0.91	3.69	0.93	3.75	1.19	3.13	0.35	3.76	0.85
7	キンボール	3.62	0.82	4.13	0.83	3.50	0.93	3.31	0.99	3.48	0.91	3.84	1.05	3.25	0.89	3.17	1.13	3.66	1.01	4.00	0.98	3.38	0.74	3.76	0.99
8	ベタンク	3.83	0.85	4.13	0.79	3.63	1.06	3.15	0.94	3.52	1.06	3.81	1.15	3.50	0.93	3.09	1.05	3.52	1.12	3.94	1.13	3.38	0.92	3.80	0.90
9	グラウンドゴルフ	3.90	0.86	3.94	0.84	3.63	1.19	3.35	1.17	3.72	0.80	3.59	1.04	3.38	0.92	3.11	1.02	3.86	0.88	3.84	1.08	3.63	0.52	3.89	0.86
10	テーパーボール	3.83	0.97	3.78	0.91	3.38	0.92	3.33	1.01	4.00	0.85	3.84	1.02	3.00	0.76	3.31	1.01	4.00	0.93	3.88	1.18	3.25	0.71	3.85	0.88
11	フリンゴ	3.38	1.01	3.75	1.05	3.50	0.93	3.30	1.00	3.52	0.99	3.59	1.07	3.00	0.93	3.15	1.14	3.76	1.02	3.88	1.07	3.50	0.76	3.76	0.82
12	ショットテニス	3.93	1.00	4.00	0.98	3.63	0.92	3.41	1.00	3.62	0.98	3.88	1.10	3.38	1.06	3.17	1.04	4.17	0.80	4.03	1.15	3.63	0.52	3.80	0.83
13	フライングディスク	3.72	0.84	3.66	1.10	3.25	1.04	3.22	1.04	3.66	0.94	3.63	1.07	2.88	0.99	3.00	1.06	4.24	1.02	4.06	1.05	3.38	0.52	3.85	0.86
14	ゲートボール	3.76	0.69	3.81	0.97	3.25	0.89	3.43	0.94	3.52	0.95	3.69	1.06	3.13	0.99	3.20	1.05	4.00	0.96	4.03	1.00	3.50	0.93	3.89	0.82
15	インディアカ	3.93	0.75	3.88	0.91	3.25	0.89	3.28	0.96	3.76	0.95	3.81	1.03	3.13	0.99	3.02	0.98	4.14	0.92	4.00	1.16	3.25	0.71	3.89	0.79

1. a = 大学クラブ所属者, b = 大学クラブ無所属者, c = 短大クラブ所属者, d = 短大クラブ無所属者

2. a: N=29, b: N=32, c: N=8, d: N=54

3. \_ : mean  $\geq$  3.50

Table 3. 各設問における群間の多重比較結果

種目	経験量	運動量	競技性	知識・理解	日常生活化	会参加希望	見本の実施	実際指導	指導現場貢献
1	スポーツチャンバラ								
2	タツチラゲビー						b>d		b>d
3	チユックボール	b>, c>d	b>d				b>d		
4	シャッフルボード								
5	ダブルダッチ								
6	ユニホック						b>d		
7	キンボール						b>d		b>d
8	ペタンク						a>d, b>d		b>d
9	グラウンドゴルフ	a<c, b<c				a<c, a<d, b<c			a>d
10	テーパーボール					b<d			a>d
11	フリンゴ								
12	ショットテニス	a<d							b>d
13	フライングディスク								a>d, b>d
14	ゲートボール				a<d				
15	インディアカ						a>d, b>d		a>d, b>d

1. <>: P<0.05

2. Bonferroni

多重比較においても部分的にはあるが短大生が高い傾向を示した。しかし、全般的な傾向としては、どの種目にあっても1度程度の経験に過ぎないことが明らかとなった。

体験後に感じた運動量については、「スポーツチャンバラ」「タッチラグビー」「チェックボール」「ダブルダッチ」「ユニホック」「キンボール」「ショートテニス」「インディアカ」を多いと評価しており、特に「タッチラグビー」「ダブルダッチ」については、すべてのグループで平均値4.0以上を示した。「チェックボール」において有意差が検出され、dグループが低く評価しているが、授業中の認識度を高めることができず、競技レベルがあまり向上していなかったことが低評価につながったものと感じられた。

競技性については、「タッチラグビー」を最も高く評価しており、次いで、「チェックボール」「スポーツチャンバラ」があげられていた。チームを形成し、1チームの人数が5名以上で、メンバーが常にゲーム参加しているような種目に、高評価が与えられている様子がうかがえた。一見スポーツチャンバラは異質な種目のように感じられるが、1対1の対戦のみならず、合戦形式の対戦を多く盛り込んだことから、チームゲームとして捉えた感がうかがえる。

知識の獲得やルール・用具の理解については、全グループ全種目ともに高く評価しており、多重比較においても差は認められなかった。今回取り扱ったようなニュースポーツの概要は、1度の授業時間内で、なおかつ、本授業のような内容・展開でも、理解されやすいものと判断された。

日常生活への導入については、「ダブルダッチ」「ショートテニス」をb・c・dグループが高く評価していたが、aは「フライングディスク」「インディアカ」の2種目だけを、dは上記に加え、「ティーボール」「フリンゴ」「インディアカ」を高く評価していた。共通にあげられた種目の特徴に、2～4人程度の少人数、対面形式、用具が軽量・コンパクト、小スペース、適度な運動量が考えられた。

今後の講習会・競技会・指導者講習会などへの参加希望については、cグループが顕著に高い傾向を示していた。多重比較においても短大生が評価を高くしている傾向がうかがえた。cグループは分析対象者が8名と少なく、競技のみならず多方面の分野に強い興味を示すような共通の学生が履修選択したのではないかと推察されるが、全般的には、大学生は1度の学びで充分とし、短大生はもう少し学ぶ機会を必要としている傾向にあるといえよう。

現場において見本を見せることの自信については、a・b・cグループが高く評価していた。しかし、dグループは、どの種目に対しても自信の獲得量が少ない傾向にあった。多重比較においても大学生が自信を高くもっている傾向にある。競技を継続し日ごろから体を動かす機会が豊富で、学びの経験量が多いものほど、見本を見せることができる程度の技術獲得には長けていると考えられよう。

実際に指導が可能かどうかについては、大学・短大および種目間で差が生じており、大学生で「ペタンク」「グラウンドゴルフ」「ティーボール」「フリンゴ」「ショートテニス」「フライングディスク」「ゲートボール」「インディアカ」を指導可能種目として高く評価していた。多重比較においても大学生が自信を高くもっている傾向がうかがえる。他の授業においても、実践的な指導実習が多く展開されているのが大学であることから、指導に際しての要領やポイントのおさえ方は、大学生のほうが秀でているものと予測された。

将来の指導現場における貢献量の予測については、a・b・dグループで高く評価しており、特に、b・dグループはすべての種目を平均値3.5以上に評価していた。両グループは、大学になってからは競技を継続していないグループである。日ごろから、教え教えられの関係が希薄であることが考えられ、一授業であれ、そのような機会が提供されたことの貢献量は多いと判断された。

## 2. 志向に影響を及ぼす要素の解明

志向の変化を探る設問として「日常生活化」「会参加希望」「指導現場貢献」を起こした。そこで、3つの設問それぞれを従属変数とし、「経験量」「運動量」「競技性」「知識・理解」「見本の実施」「実際指導」の6つの設問を独立変数とした重回帰分析を行うことによって、志向変化に影響を及ぼす要素の解明を試みた(Table 4.5.6.)。表中の数値のアンダーラインは、重決定係数( $R^2$ )、自由度調整済み重決定係数(Adj.  $R^2$ )、標準偏回帰係数( $\beta$ )、相関係数( $r$ )が、ともに統計的に有意な箇所が付した。また、cグループに

おいては、VIF (Variance Inflation Factor) >10 となる箇所が多数発見され多重共線性が発生していると考えられ、解釈に加えることは不適切と判断し、今回の解釈からは除外した。

(1) 「日常生活化」に影響を及ぼす要素の検討

a グループにおいては、3 種目が統計的に有意な値を示した。そのうち平均値が 3.5 以上の種目は、「フライングディスク」のみであり、影響を及ぼす要素は「実際指導」であった。このグループは、競技継続と学びの時間ももっとも長い。日常的に行うスポーツをもう一つ加えるとするなら、日ごろ行っている種目や誰かと競うという種目から離れて、個人的で技術獲得の段階が楽しめる新しいスポーツを好んでいる傾向が推察される。

b グループにおいては、4 種目が統計的に有意な値を示した。そのうち平均値が 3.5 以上の種目は、「ショートテニス」のみであり、影響を及ぼす要素は「経験量」であった。このグループは、競技は行っていないが、指導方法についてはよく学んでいる。ある程度の運動量や競技性が内包され、運動不足や競技欲求が解消され、なおかつ、これまでに似かよったスポーツ経験がある親しみやすい種目を日常に取り入れたいと考えているのではないかと推測する。

d グループにおいては、6 種目が統計的に有意な値を示した。そのうち平均値が 3.5 以上の種目と影響を及ぼす要素は、「ダブルダッチ」の「実際指導」、「フリンゴ」の「競技性」、「ショートテニス」の「運動量」と「競技性」、「インディアカ」の「運動量」であった。このグループは、競技継続しておらず、指導方法についての学びも時間数が少ない。よって、b グループ同様、運動不足や競技欲求が解消されることを条件に、複数種目を選択しているものと考えられる。

「日常生活化」に影響を与える各グループ共通の要素は、新しい技術獲得、グループにおいて適度な運動量、ある程度の競技性の存在が考えられ、群間の比較で明らかにしたと同じように、2～4 人程度の少人数、対面形式、用具が軽量・コンパクト、小スペースであるというような種目特性が考えられた。また、競技志向が強いものほど個人種目を好み、弱いものほどチーム形成が必要な種目を好む傾向にあり、学びの時間が短いものほど、複数の種目を選択する可能性の高いことが示唆された。

(2) 「会参加希望」に影響を及ぼす要素の検討

a グループにおいては、3 種目が統計的に有意な値を示したが、平均値が 3.5 以上の種目はない。

b グループにおいても、5 種目が統計的に有意な値を示したが、平均値が 3.5 以上の種目はない。

d グループにおいては、5 種目が統計的に有意な値を示した。そのうち平均値が 3.5 以上の種目は、「ショートテニス」のみであり、影響を及ぼす要素は「運動量」であった。その平均値は 3.78 であり極端に高い値ではない。あくまで、d グループにとって適度な運動量ということになる。

講習会・競技会・研修会などへ参加希望する場合、その種目のことをもっと知りたい、技術の獲得や向上をしたい、自分の技術レベルを知りたい、競技力を向上させたい、指導方法を学習したいなどの欲求がもとになるであろう。今回でいうなら「知識・理解」「見本の実施」「実際指導」の 3 要素が強く関連するということになるが、その平均値はどの種目も非常に高い。前項でも指摘したとおり、授業で取り上げたニュースポーツ種目は、1 度の授業時間内、今回のような内容・展開でも理解されやすく、技術修得も容易であり、授業外に講習や研修を受ける必要性を感じていないものと推測された。

(3) 「指導現場貢献」に影響を及ぼす要素の検討

a グループにおいては、4 種目が統計的に有意な値を示し、ともに平均値が 3.5 以上であった。種目と影響を及ぼす要素は、「タッチラグビー」の「競技性」「知識・理解」「実際指導」、「チュックボール」の「実際指導」、「キンボール」の「運動量」、「インディアカ」の「競技性」であった。これらは、今回の授業で取り上げたニュースポーツ種目の中では、「運動量」「競技性」ともに非常に高い種目である。このグループは、競技志向が強く、指導方法についてもよく学んでいる。将来の指導現場に競技性の強いところをイメージしている様子がうかがわれ、表出した種目・要素もそのイメージに準じているように感じられる。知識・技術がしっかりと獲得されることを前提に、「運動量」「競技性」ともに高いものを選択する傾向がうかがわれた。

b グループにおいては、9 種目が統計的に有意な値を示し、ともに平均値が 3.5 以上であった。種目

Table 4. 「日常生活化」を従属変数とした重回帰分析結果

No.	種目	R <sup>2</sup>		経験量		運動量		競技性		知識・理解		見本の実施		実際指導		VIF>10
		R <sup>2</sup>	Adj.R <sup>2</sup>	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	
a	2	.259	.057	.255	.288	-.082	.011	.079	.243	.122	.278	-.195	.253	.476	.384*	
	3	.334	.153	.091	.216	.029	.083	-.004	.144	-.107	-.001	-.329	.352*	.808*	.530**	
	4	.644	.546***	.000	.022	.800***	.530***	-.442*	.220	-.201	.049	.056	.464**	.501**	.601***	
	5	.329	.145	.216	.149	.187	.370*	.389	.440**	.035	.051	.234	.274	-.059	.173	
	6	.222	.010	.282	.392*	.125	.294	.022	.049	.091	.159	.231	.313*	-.040	.319*	
	7	.376	.206	.024	.095	-.336	-.160	.090	.329*	.262	.286	.486	.505**	-.114	.259	
	8	.396	.231	-.132	.048	.317	.482**	.210	.414*	.089	.182	-.037	.210	.335	.461**	
	9	.352	.175	.241	.257	.172	.277	.373	.441**	.028	.145	-.087	.202	.292	.312*	
	10	.248	.043	.470	.460**	.055	-.070	.107	.036	.132	.264	.097	.208	-.165	.141	
	11	.347	.169	.011	.066	-.227	.069	.210	.172	.379	.441**	.363	.411*	.026	.389*	
	12	.535	.408**	-.199	-.076	-.142	.317*	.223	.478**	-.086	.170	.597*	.668***	.123	.602***	
	13	.360	.186	.027	.191	.056	.011	.299	.409*	.237	.405*	-.191	.287	.399	.479**	
	14	.416	.256*	.430	.422*	.235	.381*	.113	.155	-.342	.293	-.501	.391*	.846*	.500**	
	15	.336	.155	.440*	.416*	-.168	.017	.381*	.279	-.056	.054	-.233	.017	.254	.222	
	15	.514	.382**	.418*	.355*	.321	.496**	.303	.351*	-.008	.355*	.290	.485**	-.104	.362*	
b	1	.269	.094	.177	.142	.480*	.371*	.051	.079	-.304	.043	.281	.281	-.038	.112	
	2	.336	.177	.009	.013	-.348	-.033	-.024	-.295	.413*	.375*	.608	.407*	-.392	.218	
	3	.467	.365**	.000	.000***	.070	.173	.001	.123	.373	.576***	.341*	.570***	.101	.447**	
	4	.421	.282*	-.305	-.264	.429*	.445**	.220	.471**	.233	.186	.078	.041	-.134	.003	
	5	.240	.058	.215	.351*	.110	.188	-.314	-.324*	-.116	.080	.257	.085	-.313	-.095	
	6	.266	.089	-.143	-.185	.101	.142	-.146	-.073	.180	.356*	.428	.418**	-.118	.245	
	7	.372	.221	.175	.082	.233	.424**	.410*	.532***	.102	.359*	-.064	.244	.137	.139	
	8	.255	.076	-.073	-.041	.202	.158	-.014	.155	.525*	.408*	-.201	-.038	.057	.000	
	9	.268	.093	.290	.116	.336	.261	.211	.276	.031	.183	.397	.129	-.414	-.078	
	10	.413	.273*	.142	.283	.311	.330*	-.082	.239	.454*	.566***	.150	.396*	-.087	.299*	
	11	.354	.199	.138	.312*	.392	.493**	.235	.364*	.032	.050	.264	.167	-.094	.149	
	12	.534	.422**	.342*	.550***	.319	.385*	-.221	.113	.133	.478**	.287	.512**	.097	.388*	
	13	.420	.281*	.301	.398*	.257	.371*	.088	.094	.385*	.489**	.072	-.028	-.231	-.047	
	14	.309	.143	-.012	-.046	.545**	.481**	.090	.241	-.152	.018	.053	-.141	-.220	-.159	
	15	.352	.196	-.222	-.087	.084	.194	-.129	-.027	.572	.537***	-.047	.247	.067	.256	
c	1	.948	.637	1.132	.000	-.441	.314	4.062	.696*	2.291	.078	-.3.80	.692*	1.605	.441	4
	2	.833	-.167	-.426	-.377	-.028	-.447	-.854	.232	.155	-.054	1.281	.683*	-.085	.098	
	3	.646	-.148	-.136	-.293	-.135	-.333	.463	-.073	-.176	-.222	.912	.169	.852	-.364	1
	4	.968	.779	-.132	.218	-.238	.122	-.196	-.714*	-.153	-.303	.123	.267	-.1.26	.488	
	5	.993	.951	-.824	-.614	.777	.146	.068	.253	-.918	-.516	.360	.091	.289	-.517	1



6 ユニホック	.979	.926	.000	.000	4.012*	-.184	-4.15*	-.257	.121	-.434	-.668	.607	4.621*	.239	3
7 キンボール	.969	.783	.768	.154	-.015	-.316	.377	.123	-.223	-.220	.456	.118	.943	.739*	
8 ベタンク	.863	.041	-.169	-.358	-.495	-.107	.757	.520	.207	-.127	.658	.385	-.413	-.311	
9 グラウンドゴルフ	.908	.354	-.917	-.167	-.549	.452	-.897	.536	.457	-.180	1.347	.675*	1.125	.583	2
10 ティーボール	.999	.995*	1.288*	-.204	-.1.30*	.000	-.638*	-.291	.433	-.241	.444	.337	1.684*	.612	
11 フリンド	.952	.667	-.042	-.143	-.504	-.378	.055	.000	.208	-.143	.873	.873**	.055	.436	
12 ショートテニス	.970	.788	1.437	.206	-.145	.870**	-.1.73	.167	1.342	.218	.840	.758*	.312	.509	5
13 フライイングディスク	.985	.892	.252	.741*	-.281	.745*	.057	.650*	.051	.348	.746	.894**	.306	.934***	3
14 ゲートボール	.819	-.270	-.489	.481	-.248	.625*	.319	.661*	-.223	.189	.056	.603	1.245	.809**	
15 インディアカ	.935	.546	-.1.83	-.545	-.1.02	.228	2.241	-.365	.388	-.377	.827	.856**	.815	.522	4
1 スポーツチャンバラ	.311	.223**	.179	.368**	.188	.266*	.080	.181	-.308	.009	.145*	.292*	.359*	.394**	
2 タッチラグビー	.190	.087	-.002	.009	.163	.073	.029	.119	-.170	-.094	-.166	.046	.462**	.361**	
3 チュックボール	.168	.062	-.078	-.013	-.048	.046	.379	.315*	.109	.057	-.253	.044	.263	.207	
4 シヤッフルボード	.200	.098	-.084	-.086	.037	.062	.039	.054	-.265	.052	.025	.235*	.514*	.381**	
5 ダブルダッチ	.299	.210**	.113	.198	-.057	.149	.045	.015	.135	.269*	-.227	.316**	.631**	.507***	
6 ユニホック	.310	.222**	-.119	-.127	.235	.305*	.023	.187	-.268*	-.156	-.144	.067	.466**	.401**	
7 キンボール	.201	.099	.063	.130	.209	.365**	.074	.206	-.090	.122	.213	.371**	.095	.356**	
8 ベタンク	.132	.021	-.037	-.033	.073	.094	.102	.166	-.258	-.156	-.097	.008	.337	.200	
9 グラウンドゴルフ	.175	.070	.202	.274*	.216	.258*	.038	.206	.074	.206	.199	.267*	-.094	.131	
10 ティーボール	.217	.118	-.167	.064	.189	.285*	.165	.218	-.106	.035	.143	.221	.291	.379**	
11 フリンド	.299	.210**	-.165	-.088	-.021	.326**	.301*	.350**	-.088	.128	.128	.415***	.355	.406**	
12 ショートテニス	.378	.299***	.109	.136	.284*	.456***	.337**	.461***	.089	.285*	.044	.325**	.106	.366**	
13 フライイングディスク	.253	.158*	.160	.173	.059	.156	-.013	-.017	.169	.300*	.014	.340**	.363	.443***	
14 ゲートボール	.167	.061	-.031	-.062	.293	.317**	-.071	.132	.180	.238*	.040	.256*	.110	.258*	
15 インディアカ	.398	.322***	.117	.319**	.464**	.564***	.236	.459***	-.012	.218	.119	.258*	-.151	.243*	

1. a = 大学クラブ所属者, b = 大学クラブ無所属者, c = 短大クラブ所属者, d = 短大クラブ無所属者

2. a: N = 29, b: N = 32, c: N = 8, d: N = 54

3. \*: P < 0.05, \*\*: P < 0.01, \*\*\*: P < 0.001

4. VIF = Variance Inflation Factor: 表中の数字は発生組み合わせ数を示す

5. \_\_: R<sup>2</sup>, Adj.R<sup>2</sup>, β, r がともに有意な場合

Table 5. 「会参加希望」を従属変数とした重回帰分析結果

No.	種目	R <sup>2</sup>		経験量		運動量		競技性		知識・理解		見本の実施		実際指導		VIF>10
		R <sup>2</sup>	Adj.R <sup>2</sup>	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	
a	1 スポーツチャンバラ	.450	.300*	-.196	-.136	-.144	.175	.380	.445	.026	.301	.300	.524**	.198	.574***	
	2 タッチラグビー	.228	.018	-.096	.104	.337	.371*	.187	.305	-.136	.006	-.257	.201	.416	.262	
	3 チュックボール	.437	.283*	.099	.068	.488	.520**	.045	.430**	-.118	-.005	-.192	.226	.464*	.429*	
	4 シヤッフルボード	.356	.181	.086	.064	-.100	.181	.424	.308	.265	.282	.125	.442**	.264	.411*	
	5 ダブルダッチ	.286	.091	.271	.287	.214	.211	.227	.188	.154	.193	.680	.141	-.804	.006	
	6 ユニホック	.182	-.041	.250	.183	-.266	-.119	.401	.227	-.098	-.002	-.244	.146	.256	.193	
	7 キンボール	.288	.094	.029	.269	.028	.246	.242	.299	.041	.071	.453	.471**	-.050	.299	
	8 ペタンク	.456	.307*	.556**	.389*	.603**	.400*	-.136	.165	.095	.219	.038	.313*	-.089	.138	
	9 グラウンドゴルフ	.121	-.119	.308	.293	.203	.122	.012	-.030	.042	.132	.082	.138	-.068	.154	
	10 ティーボール	.327	.143	.093	.150	-.052	.123	.101	.083	.007	.281	.268	.446**	.360	.526**	
	11 フリンゴ	.329	.146	-.172	-.120	.206	.440**	-.045	.291	-.022	.278	.331	.506**	.146	.472**	
	12 ショートテニス	.509	.375**	.049	.221	.473**	.393*	-.109	.065	.258	.400*	-.200	.271	.557	.485**	
	13 フライイングディスク	.498	.361*	.300	.527**	.293	.567***	-.064	.023	.146	.577***	-.163	.470**	.322	.520**	
	14 ゲートボール	.374	.203	.173	.402*	.019	.127	-.108	-.129	.198	.362*	-.397	.046	.588	.399*	
	15 インディアカ	.287	.092	.333	.321*	.047	.172	.227	.252	-.078	.140	.197	.384*	.123	.404*	
b	1 スポーツチャンバラ	.197	.004	.103	.151	.404	.396*	-.160	-.061	.020	.232	.071	.098	-.022	.019	
	2 タッチラグビー	.612	.519***	.099	.337*	.384	.478**	-.023	.009	.275	.559***	.150	.572***	.334	.466**	
	3 チュックボール	.598	.521***	.000	.000***	.257	.471**	.264*	.483**	.371	.621***	.192	.426**	.104	.357*	
	4 シヤッフルボード	.412	.270*	-.237	-.270	.250	.156	.192	.352*	.337	.441**	.324	.356*	-.174	.130	
	5 ダブルダッチ	.547	.438**	.151	.325*	.257	.431**	.238	.027	.648***	.549***	-.247	-.041	-.140	-.106	
	6 ユニホック	.513	.396**	-.307*	-.286	.154	.335*	.134	.199	.262	.503**	.456*	.543***	-.099	.334*	
	7 キンボール	.330	.170	-.055	-.035	.090	.347*	.443*	.515**	-.070	.202	.265	.326*	-.023	.148	
	8 ペタンク	.222	.036	-.365	-.095	.270	.165	-.340	-.037	.397	.249	.305	.069	-.283	-.038	
	9 グラウンドゴルフ	.306	.140	.042	-.033	.295	.330*	.106	.292	.330	.423**	.219	.214	-.054	.137	
	10 ティーボール	.334	.175	.162	.156	.358	.192	-.352	-.090	.506*	.415**	-.015	.083	-.235	.002	
	11 フリンゴ	.378	.228*	.176	.314*	.257	.485**	.130	.222	.168	.288	-.099	.034	.312	.399*	
	12 ショートテニス	.643	.558***	.306*	.537***	.281	.534***	.174	.463**	.248	.626***	-.003	.433**	.224	.420**	
	13 フライイングディスク	.264	.088	.023	.151	.086	.248	.087	.076	.477*	.485**	-.045	-.086	-.044	.044	
	14 ゲートボール	.380	.231*	-.110	.019	.476*	.518**	.080	.148	.125**	.356*	.372	.253	-.233	.066	
	15 インディアカ	.449	.317*	-.227	-.139	.315	.388*	-.073	.120	.537**	.532***	.182	.258	-.268	.105	
c	1 スポーツチャンバラ	.733	-.866	-.671	-.504	.207	.342	-.188	.655*	-.129	.293	3.119	.709*	-.116	.241	4
	2 タッチラグビー	.994	.956	-.023	-.342	-.835	-.364	.044	.520	.755	.342	.383	.714*	.383	.333	
	3 チュックボール	.453	-.283	-.100	-.387	-.095	-.189	-.214	.144	-.443	.240	.777	.335	.526	-.144	1
	4 シヤッフルボード	.835	-.153	-.111	-.509	-.127	-.500	-.559	.143	-.659	.222	.636	.713*	-.607	.033	
	5 ダブルダッチ	.999	.993	-.129*	-.374	.730*	.146	1.111*	.084	1.066	.309	-.135	.700*	.241	.335	1

(中村)

6 ユニホック	.977	.921	.000	.000	3.765*	-.117	-4.16*	-.257	.592*	-.055	-.489	.606	4.454*	.152	3
7 キンボール	.753	-.726	-.291	-.270	-.977	-.488	.498	.494	.271	-.520	.222	.364	.113	.114	
8 ベタンク	.865	.057	.640	-.646*	.845	.179	.790	.038	.250	-.213	-.031	.418	-1.67	-.696*	
9 グラウンドゴルフ	.905	.333	.385	.289	.208	.348	-.535	.124	-.082	.000	1.010	.779*	.075	.000	2
10 ティーボール	.864	.050	-.533	-.530	-.068	.000	.088	-.189	.606	-.104	1.005	.656*	.005	.354	
11 フリンド	.995	.963	-.097	-.524	.147	.126	-.636	-.218	.653	.333	1.055	.655*	-.418	.291	
12 ショートテニス	.967	.769	1.501	.179	-.818	.636*	-.180	.174	1.668	.342	1.738	.572	-.272	.114	5
13 フライイングディスク	.970	.790	.626	.404	-.782	.683*	.079	.354	.406	.570	1.822	.813**	-1.07	.459	3
14 ゲートボール	.857	.002	-.194	.000	.305	.375	.208	.567	.140	.189	.961	.754*	-.619	.202	
15 インディアカ	.999	.993	-.278*	-.151	-.198*	.315	4.060*	.000	1.377*	.104	.936*	.754*	1.755*	.202	4
1 スポーツチャンバラ	.297	.207**	.188	.355**	.173	.252*	.119	.209	-.295	-.029	.008	.203	.411*	.369**	
2 タッチラグビー	.219	.119	.097	.051	.221	.193	.131	.160	-.367*	-.212	.260	.239*	.070	.156	
3 チュックボール	.105	-.009	-.075	-.002	.076	.075	.221	.196	-.099	-.157	-.278	-.133	.173	.017	
4 シヤッフルボード	.324	.238**	.016	.043	-.208	-.234*	-.277*	-.327**	-.156	.120	-.137	.224	.586**	.399**	
5 ダブルダッチ	.339	.255**	.208	.333**	.168	.363**	.042	-.038	.070	.288*	-.119	.365**	.468*	.498***	
6 ユニホック	.120	.008	-.075	-.055	-.051	-.036	.114	.147	-.139	-.088	.226	.276*	.100	.229*	
7 キンボール	.230	.132*	.112	.173	.168	.351**	.199	.317**	-.140	.099	.163	.339**	.128	.371**	
8 ベタンク	.167	.061	-.094	.069	-.149	-.134	-.081	-.051	-.011	.083	.152	.324**	.308	.328**	
9 グラウンドゴルフ	.148	.039	-.144	.001	.153	.093	-.236	-.041	.172	.152	-.052	.084	.350*	.293*	
10 ティーボール	.244	.148*	.134	.314*	.109	.235*	.131	.229*	-.176	-.008	.148	.298*	.252	.401**	
11 フリンド	.271	.178*	.069	.070	.095	.349**	.191	.319**	-.205	.082	.341	.428***	.118	.365**	
12 ショートテニス	.359	.278**	.122	.156	.291*	.469***	.187	.340**	.077	.291*	.010	.326**	.252	.454***	
13 フライイングディスク	.083	-.034	-.007	-.009	-.103	-.099	-.148	-.171	.052	.133	.076	.185	.139	.189	
14 ゲートボール	.236	.138*	.285*	.139	.052	.055	-.041	-.043	-.469**	-.211	.165	.168	.319	.203	
15 インディアカ	.261	.166*	-.202	-.028	.479**	.464***	.044	.241*	.112	.174	-.072	.087	.039	.233*	

1. a = 大学クラブ所属者, b = 大学クラブ無所属者, c = 短大クラブ所属者, d = 短大クラブ無所属者

2. a: N=29, b: N=32, c: N=8, d: N=54

3. \*: P<0.05, \*\*: P<0.01, \*\*\*: P<0.001

4. VIF=Variance Inflation Factor: 表中の数字は発生組み合わせ数を示す

5. \_\_: R<sup>2</sup>, Adj.R<sup>2</sup>, β, r がともに有意な場合

Table 6. 「指導現場貢献」を従属変数とした重回帰分析結果 3

No.	種目	経験量		運動量		競技性		知識・理解		見本の実施		実際指導		VIP>10
		$R^2$	Adj. $R^2$	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	$\beta$	r	
1	スポートチャンバラ	.458	.310*	-.111	-.033	-.128	.162	.174	.435**	.372	.520**	-.212	.352*	.532**
2	タツクラグビー	.708	.628***	-.449**	.054	-.353*	.141	.859***	.584***	.306*	.344*	-.177	.466**	.524*
3	チュウクボール	.599	.490**	-.408**	-.296	-.403	.072	.394	.168	.233	.126	.005	.323*	.671***
4	シヤツフルボード	.208	-.008	-.074	-.053	.145	.153	-.118	-.009	.115	.198	.000	.283	.380
5	ダブルダッチ	.222	.010	-.003	.152	.371	.379*	.221	.298	-.188	-.086	.103	.093	-.056
6	ユニホック	.274	.077	-.024	.127	.186	.342*	-.034	.244	.367	.478**	.154	.282	.011
7	キンボール	.624	.522***	.237	.296	.479**	.622***	.298	.548**	.139	.278	-.289	.138	.224
8	ペタンク	.219	.006	-.013	.177	-.123	.028	.208	.142	.103	.227	.159	.322*	.302
9	グラウンドゴルフ	.182	-.041	.040	.224	.024	.044	.098	.054	.090	.195	.018	.265	.357
10	テニール	.185	-.037	.193	.203	-.306	-.112	.097	.034	.204	.242	.189	.200	.078
11	フリンゴ	.318	.132	.077	.117	.226	.376*	-.204	.175	.019	.310	-.045	.435**	.529
12	シヨートテニス	.205	-.012	.106	.145	-.282	-.228	.213	.279	-.105	.061	-.328	.060	.414
13	フライングディスク	.243	.037	-.072	.125	.549	.463**	-.016	.133	-.185	.237	-.096	.246	.245
14	ゲートボール	.360	.185	-.123	.037	.042	.180	.185	.269	.303	.400*	.050	.376*	.357
15	インディアカ	.352	.176	.049	-.039	.014	.186	.579**	.562***	.129	.200	-.178	.118	.104
1	スポートチャンバラ	.417	.277*	.138	.239	.312	.520	.023	.161	.360	.572***	.021	.174	.129
2	タツクラグビー	.334	.174	.174	.326*	.201	.417**	.075	.053	.264	.408*	.237	.363*	-.023
3	チュウクボール	.516	.423**	.000	.000***	.015	.288	.260	.361*	.461**	.634***	.350	.461**	-.126
4	シヤツフルボード	.568	.464***	.023	-.104	.142	.159	.413*	.507**	.456**	.572***	.137	.348*	.133
5	ダブルダッチ	.485	.361**	.001	.264	.364**	.534***	-.229	-.433**	.285	.526**	.046	.290	.084
6	ユニホック	.477	.351**	-.263	-.275	.010	.190	.043	.050	.490**	.615***	.225	.453**	-.009
7	キンボール	.524	.410**	.117	.100	.270	.544***	.279	.493**	.174	.519**	.260	.512**	.022
8	ペタンク	.287	.116	.085	.250	.303	.113	-.173	-.044	.406*	.420**	.202	.296	-.037
9	グラウンドゴルフ	.426	.288*	.047	.118	.082	.031	-.119	.036	.474**	.518**	.431	.451**	-.068
10	テニール	.439	.305*	.059	.247	-.065	-.057	-.115	.010	.708***	.622***	-.002	.214	-.156
11	フリンゴ	.429	.292*	-.532**	-.338*	.435*	.297*	.032	.129	.303	.322*	.234	.086	-.007
12	シヨートテニス	.368	.217	.015	.193	.347	.541***	.007	.262	.312	.523**	.092	.200	-.055
13	フライングディスク	.369	.217	-.102	.148	.135	.223	-.145	-.178	.542**	.571***	.095	.132	.023
14	ゲートボール	.467	.339**	-.072	.168	.065	.256	.190	.132	.398*	.596***	.459*	.474**	-.077
15	インディアカ	.519	.404**	-.199	-.104	.279	.371*	.091	.278	.280	.501**	.519*	.550***	-.189
1	スポートチャンバラ	.974	.815	-.656	-.603	.408	.314	-.202	.348	-.866	.701*	2.657	.817**	-.576
2	タツクラグビー	.884	.187	.334	-.112	-.148	.104	-.313	.548	.646	.412	.689	.611	.689
3	チュウクボール	.966	.763	-.111	-.162	.480	.236	-.133	-.361	.027	-.033	.897	.280	.486
4	シヤツフルボード	.886	.203	-.611	.104	.453	.058	-.102	-.611	-.455	-.144	.783	.508	-.389
5	ダブルダッチ	.998	.985	-.645	.291	.732	.516	.745	-.149	.599	.730*	-.199	.700*	.808**

6 ユニホック	.771	.200	.000	.000	1.416	-.545	-1.89	.061	.400	-.143	-.200	.429	2.538	.709*	3
7 キンボール	.976	.832	-.037	.204	-.709	-.417	-.264	-.271	.304	-.032	.401	.104	.830	.704*	
8 ベタンク	.988	.916	2.077	.313	1.035	.329	.630	.276	-.796	.103	.691	.459	-.975	.421	
9 グラウンドゴルフ	.997	.982	.344	.689*	-.2.15	-.389	1.008	-.360	.248	.046	1.416	.203	-.310	.038	2
10 ティーボール	.897	.282	.979	-.267	-.1.19	.000	-.486	-.238	.867	.079	.679	.276	1.474	.535	
11 フリンド	.906	.344	-.292	-.267	.265	.354	-.383	-.408	-.175	-.267	.153	.612	.536	.816**	
12 ショートテニス	.782	-.527	.593	.582	.753	.701*	-.163	.596	.414	.293	-.107	.565	-.186	.293	5
13 フライイングディスク	.790	-.470	-.367	.639*	1.571	.600	-.974	.261	-.074	-.078	-.1.16	.600	1.550	.661*	3
14 ゲートボール	.912	.385	-.123	.333	.216	.722*	.682	.873**	.064	.436	-.107	.522	.327	.701*	
15 インディアカ	.946	.620	-.267	-.570	-.000	.524	.313	-.535	.469	.079	.443	.798**	.746	.764*	4
1 スポーツチャンバラ	.235	.138*	.029	.219	.076	.155	.201	.265*	-.187	.121	.353	.386**	.151	.334**	
2 タッチラグビー	.054	-.067	.083	.068	.044	.077	.035	.026	-.072	.003	.210	.202	.013	.109	
3 チュックボール	.050	-.071	.077	.113	-.013	.097	.128	.166	-.033	-.018	.172	.119	-.133	-.002	
4 シヤッフルボード	.271	.178*	.301*	.232*	-.320*	-.254*	.147	.023	-.206	.139	.344	.315*	.135	.274*	
5 ダブルダッチ	.059	-.061	.080	.129	.070	.149	.038	.008	.052	.130	-.077	.138	.206	.204	
6 ユニホック	.199	.097	.293*	.327**	-.069	-.133	.087	-.019	-.203	-.218	.231	.236*	-.041	.075	
7 キンボール	.253	.157*	.283*	.349**	-.012	.255*	.047	.171	.007	.237*	.249	.369**	.135	.408**	
8 ベタンク	.382	.303***	-.112	-.014	.104	.039	.016	.029	-.298*	-.070	.579***	.528***	.136	.360**	
9 グラウンドゴルフ	.226	.127	.080	.239*	.200	.107	-.336*	-.069	.144	.229*	.312	.340**	.093	.250*	
10 ティーボール	.106	-.008	-.136	-.043	.054	.046	-.140	-.162	.071	.097	.277	.249*	-.009	.075	
11 フリンド	.213	.112	.180	.152	-.211	-.032	-.022	.007	-.269	-.007	.603**	.317**	-.064	.220	
12 ショートテニス	.267	.174*	-.086	.094	.212	.219	-.100	.065	-.013	.227*	.577**	.464***	-.196	.149	
13 フライイングディスク	.261	.167*	.292*	.284*	.191	.214	.031	.068	.155	.277*	.404*	.313*	-.233	.145	
14 ゲートボール	.214	.114	.277	.185	.077	.099	-.036	-.022	-.332*	-.065	.372*	.307*	.103	.180	
15 インディアカ	.206	.104	.015	.133	-.128	.055	-.005	.090	.025	.177	.389*	.438***	.114	.318**	

1. a = 大学クラブ所属者, b = 大学クラブ無所属者, c = 短大クラブ所属者, d = 短大クラブ無所属者

2. a: N=29, b: N=32, c: N=8, d: N=54

3. \*: P<0.05, \*\*: P<0.01, \*\*\*: P<0.001

4. VIF=Variance Inflation Factor: 表中の数字は発生組み合わせ数を示す

5. \_\_: R<sup>2</sup>, Adj. R<sup>2</sup>, β, r がともに有意な場合

と影響を及ぼす要素は、「チェックボール」の「知識・理解」, 「シャッフルボード」の「競技性」, 「知識・理解」, 「ダブルダッチ」の「運動量」, 「ユニホック」の「知識・理解」, 「グラウンドゴルフ」の「知識・理解」, 「ティーボール」の「知識・理解」, 「フリント」の「運動量」と負の「経験量」, 「ゲートボール」の「知識・理解」, 「見本の実施」, 「インディアカ」の「見本の実施」であった。aグループとは相反するような形で、種目と要素が表出している。このグループは、競技志向はあまり強くはないが、指導方法についてはよく学んでいる傾向にある。種目については、あまり競技性の高くないものが中心に選択されているようで、特に身体接触の多い種目は避けられている感がある。影響を与えると考えられる要素についても、「知識・理解」「見本の実施」があげられており、できるだけ幅広く多くの種目を現場で教えていきたいという態度と受け取れた。将来の現場は、健康志向・レクリエーション志向の強いところをイメージしている様子うかがえた。

dグループにおいては、5種目が統計的に有意な値を示し、ともに平均値が3.5以上であった。種目と影響を及ぼす要素は、「シャッフルボード」の「経験量」と負の「運動量」, 「キンボール」の「経験量」, 「ペタンク」の「見本の実施」, 「ショートテニス」の「見本の実施」, 「フライングディスク」の「見本の実施」であった。このグループは、競技志向は強くなく、学びの時間も少ない傾向にある。種目は競技性の低いものが選択され、影響要素は「経験量」「見本の実施」があげられている。過去に経験がありある程度認識することができていたか、全く経験がなくても理解・実施しやすい種目で、簡単な見本が見せれる程度に上達することで、現場指導に生かせると考えている様子うかがえる。将来の現場をイメージするというよりは、自分に教えることが可能かどうかで、種目・要素が決定される傾向にあった。

「指導現場貢献」は、将来の指導現場での役立ち度について聞いたものである。上記の結果は、3グループそれぞれの進路イメージが、そのまま特徴として顕著に現れたものと判断できよう。

## まとめ

ニューススポーツを経験することによって、競技志向の強い体育系学科学学生たちの志向がどのように変化するか、ニューススポーツの知識・技術・指導力は在学中どの程度獲得されていくのかを明らかにするために一連の研究を開始した。今回は、学びの時間、競技・指導経験の量、競技の継続とレベルを視点にグループ分けし、比較検討することとした。特に、日常的な生活化への意向、講習会・競技会・指導者研修会等への参加希望、将来の指導現場への貢献量を明らかにすることが主目的とされた。結果から以下のことを指摘し、まとめとする。

### 1. 基本的評価の特徴

「運動量」は、「スポーツチャンバラ」「タッチラグビー」「チェックボール」「ダブルダッチ」「ユニホック」「キンボール」「ショートテニス」「インディアカ」を多いと評価しており、「競技性」は、「タッチラグビー」「チェックボール」「スポーツチャンバラ」の順で高評価である。「スポーツチャンバラ」は異質な種目に感じられるが、合戦形式の対戦が、チームゲームとして捉えられた要因と考えられた。「知識・理解」については、全グループ全種目ともに高く評価され、ニューススポーツは1度の授業時間内で理解されやすいものと判断される。「日常生活化」については、共通にあげられた種目の特徴に、2～4人程度の少人数、対面形式、用具が軽量・コンパクト、小スペース、適度な運動量が考えられた。「会参加希望」については、大学生は1度の学びで充分とし、短大生はもう少し学ぶ機会を必要としている傾向にあった。「見本の実施」については、大学生が自信を高くもっている傾向にある。競技継続、学びの経験量が、見本を見せる技術の獲得に影響していることがうかがえた。「実際指導」については、大学生が自信を高くもっており、指導に際しての要領やポイントのおさえ方が得意であった。「指導現場貢献」については、競技継続していないグループで高く、教え教えられの関係が希薄であることから、一授業であれ機会が提供されることの貢献量は多かった。

## 2. 志向に影響する要因

- 1) 日常的にニュースポーツを生活に取り入れようとする意識は、どのグループ・種目においても高いとはいえない。影響を与える共通の要素には、新しい技術獲得、グループにおいて適度な運動量、ある程度の競技性の存在が考えられ、2～4人程度の少人数、対面形式、用具が軽量・コンパクト、小スペースであるというような種目特性が考えられた。また、競技志向が強いものほど個人種目を、弱いものほどチーム形成が必要な種目を好む傾向にあり、学びの時間が短いものほど、複数の種目を選択する可能性が高い。
- 2) 講習会・競技会・研修会などへ参加については、ほとんどの学生が、その必要性を感じていないことが判明した。
- 3) 競技志向が強く指導方法をよく学んでいる学生は、将来の指導現場に競技性の強いところをイメージしている様子がうかがわれ、知識・技術がしっかりと獲得されることを前提に、「運動量」「競技性」ともに高いものを選択する傾向がある。競技志向は弱い指導方法をよく学んでいる学生は、将来の現場に健康・レクリエーション関連のところをイメージしているようで、できるだけ幅広く多くの種目を現場で教えていきたいという態度の表れと受け取れた。競技志向は弱く学びの時間も少ない学生は、将来の現場をイメージするというよりは、自分に教えることが可能かどうかで、種目・要素が決定される傾向にあり、過去に経験・認識のある、あるいは、全く経験がなくても理解・実施しやすい種目で、簡単な見本が見せられる程度に上達することで、現場指導に生かせると考えているようであった。

## 文 献

- 1) 中村哲士, 武庫川女子大学紀要, 56, 117-126 (2008)
- 2) 前掲 1), 117-126 (2008)
- 3) 野々宮徹, ニュースポーツのあゆみ, みんなのスポーツ, 20 (12), 8-12 (1998)
- 4) 笹瀬雅史・五十嵐寿早・竹田隆一, 山形大学教育実践研究, 14, 43-52 (2005)
- 5) 前掲 1), 117-126 (2008)
- 6) 神野賢治・谷口勇一, 大学における「レクリエーション教育」に関する社会学的研究—“体育・スポーツ系学生”への意識調査から導き出す今日の課題—(財)日本レクリエーション協会レジャー・レクリエーション研究所自由時間研究紀要, 31, 21-33 (2006)
- 7) 神野賢治・築山泰典・藤井雅人, 体育・スポーツ系学生の「ニュースポーツ志向性」とその要因検討(1)—カリキュラムを通じた“変化”に着目して—, (財)日本レクリエーション協会レジャー・レクリエーション研究所自由時間研究紀要, 32, 44 (2008)
- 8) 久保和之・道用亘・吉澤洋二・守能信次, 大学体育におけるニュースポーツ選択者の特性, 中京大学体育学論叢, 41 (2), 81-116 (2004)
- 9) 師岡文男, スポーツ・フォア・オール国際フェア'94, 体育科教育 1月号, 46-47 (1995)
- 10) 仲野隆士, ニュースポーツの人口動態, 体育の科学, 56, No.5 (2006)
- 11) 松田稔, 軽スポーツ, YMCA 出版, (1980)
- 12) 北川勇人, レクリエーションスポーツ種目全書, (株)遊戯社, (1984)
- 13) 北川勇人, ニュースポーツ事典, (株)遊戯社, (1991)
- 14) 前川峰雄・江橋慎一郎・寒河江善秋・小川長治郎, レクリエーション事典, (株)不昧堂出版, (1971)
- 15) (財)日本レクリエーション協会, レクリエーション支援の基礎—楽しさ・心地よさを活かす理論と技術—, (財)日本レクリエーション協会, (2007)